

## 第 13 回 J T B 交流文化賞一般部門最優秀賞「ひみつの夏休み」

### 広報 7 月号からの続き... (最終話)

これまでのあらすじ...

長野県にお住まいの芝茜さん。

平成 28 年夏、一人でする育児に悩み誰にも告げず、まだほとんど口もきけない一歳五ヶ月の娘と二人きりの、無計画で無鉄砲な往復三千キロの旅に出る。

旅先は北海道。ガイドブックには載っていない、何年前前に映画で見た絵本で町おこしをしている小さな田舎町「剣淵町」。

そこで出会った地域おこし協力隊、観光課職員、旅館のおかみさんとご主人や館の子どもたち。協力隊に案内してもらった小学校の壁画や眺望の丘、そして絵本の館。

田舎町ならではの人々とふれあいと大自然を体験し二泊三日の弾丸旅行を終えた、茜さん親子は長野県の自宅へ戻る...

旅で使った服を洗うために洗濯機をまわす間、デジカメで撮影した北海道での写真をテレビ画面に映してみる。

ほとんど私がシャッターを押していたので、どの写真も、写っているのは、娘、娘、娘...あ、私だ。

娘に負けないくらい、生き生きと笑っている自分が、そこにいることに驚き、静かに感激した。

体はくたくたのはずなのに、不思議なすがすがしさで、なかなか眠気は襲ってこない。

深夜零時、部屋の灯りを消し、目を閉じた。

風景の色、出会った人たち、乾いた空気...。遠く離れた地で過ごした、娘と私しか知らない特別な夏休みを、愛おしむように思い返していく。

まぶたの裏に、レモン色の花がさわさわと風にそよいでいる様子が映し出される。

自分がその場所に立っているような感覚になって鼻から息を吸い込むと、寝苦しいはずの夜に少しだけ、乾いた涼しい風が吹きぬけた。



受賞された芝茜さんの素敵な思い出の全文については、J T B ホームページ内に掲載しています。

「J T B 交流文化賞」で検索もしくは下記のアドレスにログインしてください。

アドレス <http://jtb.co.jp/chiikikoryu/koryubunkasho/jushou/index.asp>